



第323号 平成17年6月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 長村吉朗

第56回 十四大都市学校保健協議会に参加して

会長 長村吉朗

5月22日仙台市において、第56回十四大都市学校保健協議会が仙台市学校保健会及び仙台市教育委員会の主催で開催され、学校医会より私と奥村副会長、林専務理事、竹内常任理事の4名と星谷耳鼻科医会理事、新井眼科学校医会副会長、宮尾眼科学校医会理事の合計7名が京都より参加いたしました。私は前日の21日に仙台市医師会主催で開催されました学校医懇談会の概要と、22日の協議会の内、全体競技及び課題別協議会の第3分科会「心の健康」と記念講演につき報告をいたします。その他の分科会の内容につきましては他の記事をお読みください。

21日の学校医懇談会の講演は、仙台市市長の藤井黎氏による「奥の横道」で、藤井市長は教育長から仙台市長になられた榎本京都市長とよく似た経歴をお持ちの市長です。講演の内容はここまでお読みの先生方の大部分は仙台に関する「奥の細道」の解説かとお思いでしょうが、実際の題名は「横道で」、物事にはそれぞれ本道の他一杯横道があるというものであり、と言うことであるらしく、その内容は様々な方向の横道にそれたもので、良く上手くまとめられたものだと思ふところで感心させられるものでした。

翌日の第56回十四大都市学校保健協議会はまず全体協議におきまして次期大会の開催地が川崎市に決定されました。今回より十三大都市が十四大都市に変更になり、札幌、仙台、さいたま、千葉、川崎、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、北九州、福岡の各政令指定都市に新しく静岡市が仲間入りいたしました。

今回の協議主題は「生涯にわたる健康の基礎づく

り」で、協議が行われました。

第3分科会の口頭提言では「生徒の心の健康に養護教諭としてどう関わるか」千葉市 養護教諭 福田悦子氏、「ストレスと上手につきあうことができる子どもの育成」名古屋市 教諭 宮城直子氏、「心の健康に関する保健の授業づくり」大阪市 教諭 古角好美氏、の3題が報告されました。これらの発表に対し活発な討議が行われたわけですが、一つの発表が25分と長いものでしたが残念ながらあまり興味をひくものではありませんでした。今後のこの協議会の内容の向上を強く求める気持ちで一杯です。

紙上提言では

「個に応じた健康課題解決のための支援

～スマイル講座の取り組みを通して～」

さいたま市 養護教諭 荻田 晴美氏

「こころの健康への支援のあり方」

川崎市 学校医 吉邨 泰弘氏

「保健室登校の実態と養護教諭の「多忙感」について」

福岡市 養護教諭 松本 恵氏

の3題がありました。

午後からの記念講演はフリーアナウンサーの生島ヒロシ氏によります「心の健康、体の健康、もうひとつおまけに・・・」でまず最初は少しつらくなるほどの体操から始まる講演で眠気も吹き飛ぶものでした。これらの資料は学校医会事務局にございますので必要な先生方は遠慮なくご連絡下さい。

学校保健にヘルスプロモーションの理念を 取り入れた健康教育の推進

副会長 奥村正治

第56回十四大都市学校保健協議会の第1分科会のご報告をいたします。協議主題は表題の健康教育であります。

3人の口頭提言と、4題の紙上提言が第1分科会でありました。列挙いたします。

- 進んで健康なからだをつくろうー歯・口の健康づくりの活動を通してー
川崎市立西御幸小学校 養護教諭 三浦三恵子先生
- PRECEDE-PROCEEDモデルと学校歯科保健
横浜市立相沢小学校 歯科校医 辻村育郎先生
- 心も体も健やかであり続けようとする意志と能力を持った子どもの育成
北九州市立西小倉小学校 校長 安藤道夫先生
- 教育と保健の協調ーライフコントロールを中心にヘルスプロモーションの確立をめざしてー
京都市立西京高等学校 養護教諭 杉本芙美子先生
- 実践力を高め、生きる力を育む健康教育ー保健学習・保健指導の手引き書の作成を通してー
大阪市立岸里小学校 校長 柳本和夫先生
- 元気パワーアップ大作戦ー手作り教材ソフトを用いた健康教育ー
神戸市立湊川多聞小学校 養護教諭 井上貞子先生他
- 保健指導の教材づくりーすぐにできる保健指導を目指してー
仙台市立新田小学校 養護教諭 小林幹子先生他

どの学校も健康教育には「この方法も良いな」「あの方法も良いな」と思う様な教材を用いて進めておられるのには感心いたしました。

7つの演題の中に京都市がありました。どうしても地元応援型となり杉本先生の話題をこの紙面に載せず、小冊子もあり、事務所に置いてありますのでご参照下さい。

平成16年4月より中高一貫校になった事により、通学圏が京都府内全域に渡っている。その事が関係しているのか、通学時間の長さで、睡眠時間が少なくなり、又、朝食の欠食のケースが多いとの事。

- (1) 自分の健康状態と生活実態を把握し、自ら健康課題を見つけ解決しようとする態度の育成を目指す。
- (2) 豊かな人生を営むための健康生活を設計し、実践する力の育成をすすめる。
- (3) 自己の確立と、他者の尊厳の尊重と共生する精神の発展を目指す。

の三本柱で健康教育が進められました。具体的には10の項目にそって進めておられます。現在進学校の道を歩む中、ライフコントロールを中心にヘルスプロモーションが確立されれば、夢・目標にむかって今の自分を大切に、自分の課題や改善点を見つけ、対策や解決方法を考え実行できるはずであると、結んでおられる。耳のいたい言葉が最後に載っている。「大切なことは、私たち教職員も高いライフスキルをもち、ヘルスプロモーションの確立ができてこそ、高校生にとっての健康教育・学校教育が生きてくるであろう。」と。

第56回 十四大都市学校保健協議会 第4分科会（地域保健）

専務理事 林 鐘 声

【協議題】

家庭・地域・学校の連携で進める保健活動のあり方

【主 旨】

多様化する生活様式や複雑化する健康問題をふまえて、子どもが地域社会で生き生きと生活し、生涯にわたって健康でたくましく安全に生きる子どもを育成するために、家庭・地域・学校の連携はどうあるべきかについて協議する。

【口頭提言】

①家庭にはたらきかける学校保健活動を目指して

札幌市立菊水小学校——高橋恵津子氏

②学校・家庭・地域との連携を図り、進めるエイズ教育

京都市立正親小学校——北村 幸代氏

③「新しい自分」を発見できる子供たちを育てるためにできること

神戸市立井吹東小学校——川口 嘉之氏

①は食生活を中心とした生活習慣の改善、②はエイズ教育を中心として心と体の発育の指導、③は歯と口の健康づくり、を切り口としたそれぞれ盛り沢山な内容をもつ発表でした。その熱意と工夫の成果については余り言及されなかったし、実際、すぐに成果が現われるわけではないなかで、聴衆の先生方は、自らの学校の事情に照らし合わせて取捨選択しながらきいていたものと思います。一方、治療成績などの成果を競う発表に慣れている医者にとっては、「それで、どうなったのか」という突っ込みをつい入れながらきいてしまい、しかもその答えが得られないまま発表が進むので、1演題25分の発表についていくのは、しんどい所があったのは否めません。

続いて紙上提言が3題ありました。

④健康について自ら考え、進んで実践できる子の育成

千葉市立松ヶ丘小学校——山中 裕子氏

⑤名古屋市における「見え方」についての啓発活動

名古屋市立白鳥小学校——長屋 幸郎氏

⑥地域ととり組む健康教育

仙台市立蒲町中学校——西城 順子氏

最後にまとめとして、仙台市健康福祉局、佐藤牧人氏が、「家庭・地域・学校の連携で進める保健活動のあり方」を口演しました。know how でなくて know why を考えながら仕事をしていくことが基本となるべきとの発表でした。

結局、学校と地域との連携における健康課題として、タバコ・薬物乱用防止、エイズ・性教育、子育て・児童虐待、心の健康、食生活、生活習慣病が挙げられ、校医はこれらの課題に対してははっきりとした見識を示すとともに、学校現場に貢献できるよう努めていくことが求められているようです。このことに気付かされた私は、校医も大変だと考えた次第です。



副会長就任のご挨拶

洛北中 平 位 喜七郎

この度、大久保前副会長さんの定年退職に当たり、思いがけずその後任を拝しました。不慣れで、実力のないことをよく弁えていますので、随分固辞してまいりましたが、しばらくの間、長村執行部体制を支えられるように努力してまいりますので、どうかよろしく願います。洛北中の校医になり早くも8年になりますが、この間だけでも学校医の役割は大きく変わりました。感染予防、アトピーや肥満の

改善アドバイスよりも不登校や学習障害等の心の問題から発生する問題が大きな比重を占めてきました。この領域に不慣れな校医としてどのように関与しなければならないか、皆さん方のお知恵をかりながら新たな学校医の役割りを模索して行きたいと思っていますので、今後、よろしくご支援のほど願います。

常任理事就任挨拶

小野小 蘆 原 亨

この度、常任理事を拝命いたしました蘆原亨と申します。山科区で内科・消化器科診療所を開業いたしております。もともとは消化器内視鏡医でしたが、約三年前に故あって開業することとなり、「えらいこっちゃ、これからは内科一般をもっとしっかり勉強していかなあかんやん」と思っておりました矢先の昨年春先に、故あって小野小学校の学校医をお引き受けすることになりました。そして「えらいこっちゃ、今まで子供なんて診たこともないのに、どうしよ、どうしよ、どうしよ」と大騒ぎしていたその

興奮も冷め遣らぬ四月には地区の学校医担当理事に任ぜられ、何も分からぬままに一年を過ごして、京都市学校医会と京都府医師会学校医部会の違いにやっとなり、「ふむふむ、そうやったんや、へえー」と感心していた矢先のこの四月に京都市学校医会の常任理事を拝命した次第でございます。お引き受けいたしました以上は、出来るだけ皆様の足を引っ張らぬよう精進する所存でございます。何卒よろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

新 任 校 医 紹 介

高倉小学校 俵 良 裕

昨年6月より高倉小学校の学校医を勤めております俵と申します。関西医科大学卒業後、父の死に伴い平成3年に内科医院を継承して今日に到っております。

高倉小学校は私の医院から徒歩2分足らずの所にあり、統合する前の日彰小学校には私も一時期通っ

ておりましたし、父が校医を勤めていた事もありました。そんな縁のある学校の校医を勤められる事を喜んでおります。

今後は学校保健に関する研鑽に励み、また諸先生方に御指導をいただきながら、職務を全うしたいと思っております。宜しく願います。

創立 100 周年記念準備委員会便り

I. 式典・祝宴準備委員会

現在までに2回委員会は開催されました。
先ず開催日については既報の通り平成19年秋に照準を定め検討しました。その結果、

平成19年9月22日、土曜日

と決定しました。選定の経過としては、

- ①10月、11月は来賓各位のスケジュールが詰まっている可能性が大きく且つ観光シーズンのためホテルの確保も困難であること。
- ②学校医会の発足月が9月となっていること。などがポイントとなりました。

次に会場の件ですが、京都ホテルオークラとウェスティンミヤコに絞り検討した結果利便性を考慮してホテルオークラに内定し細かい交渉に入ります。更に、特筆すべきは式典の場所を変えて格調高く行う案が浮上し、詰めに入っています。これが実現すればあっと云わせる事になるでしょう。早く決定して報告したいものです。来賓の人選はこれからです。

祝賀会当日の記念講演について委員会で検討に入っています。講師の人選については候補者も挙がっていますが、会員先生方にも広くご意見を伺い、相応しい内容と講師を選ぼうということになりました。特にジャンルは問いません。が謝礼には限度があります。

1. この人の話が聴いてみたい
2. 一度聴いたが素晴らしかったのでみなさんにも聴いてほしい
3. 滅多に聴けない人だけど私にはコネがあるので推薦できる

などなど、是非お気軽に事務局までご連絡下さい。早いほど結構です。

ご協力よろしく申し上げます。

II. 記念誌作成委員会

3回開催されました。過去70周年、90周年の各記念誌、その他関係諸団体の記念誌を参考に基本方針について目下意見交換を行っています。又、以前か

らいつも議論を呼ぶ創立年月日について、過日眼科医会の奥沢康正先生より貴重な文献をご提出いただきました。即ち、明治27年に「京都医事衛生誌」が創刊され、以後京都の学校衛生の動向が詳細に掲載されています。

こうなると、現在の基点とされる明治32年を更に遡ることになり、その裏付けもあるようですが、組織化された学校医会として認められるのは矢張り現在の線引きでゆこうと決定しました。いずれにしても、学校医の夜明けは京都からであり、記念誌にはこの辺りを歴史として出来るだけ正確にまとめる所存です。

又、OB先生方には、その知見、提言、回想などのご投稿を既に依頼済みです。

今後の進行状況については適宜ご報告いたします。
(文責 酒井 晃)

予 告

京都市学校医会右京支部会

- 日 時 / 平成17年7月23日(土)
午後 12:30~2:30
- 場 所 / 「愛 蓮」 TEL 881-7116

京都市学校医会下京支部会

- 日 時 / 平成17年10月1日(土)
午後 17:00~
- 場 所 / 「吉兆グランヴィア店」
TEL 342-0808

第2回 常任理事会

平成17年6月4日
於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、
井上、藤田、東道、蘆原各常任理事、星谷
耳鼻咽喉科理事、佐野眼科学校医会副会長

・会長挨拶

<報告事項>

1. 腎臓相談 5/17 (東道)
3名、急性腎炎治癒後の運動負荷で蛋白尿が
1名
2. 精神衛生研究会 5/19 (平位)
4名出席、「悲しみに言葉を」
3. 十四大都市学校保健協議会 5/21・22 (長村)
長村、奥村、林、竹内、他に星谷、新井、宮尾
の計7名で京都市より出席
内容は今月号を参照
4. 学校保健連絡会議 5/23 (長村)
府医(上原副会長、岡林理事)、学校医会(長
村、林)の連絡会議、主に指定学校医制度につ
いて話し合う
5. 腎臓相談 5/31 (藤田)
3名
6. 創立100周年式典・祝賀委員会 6/3 (長村)
大略は決定、次回は9月に、詳細は改めて報告
予定
7. その他

<協議事項>

1. 市教委との懇談会について 7/2
長村、平位、奥村、林、星谷、浅山の出席
(於オクムラ)
2. 中学校長部会との懇談会について 7/9
長村、平位、奥村、林、東道、星谷、浅山の出
席 (於菊乃井)
3. 養護部会との懇談会について 8/20
長村、平位、奥村、林、井上、蘆原、星谷、新
井の出席 (於道楽)
4. 京都府医師会指定学校医制度について
詳細については、7月号で周知
5. 全理事会・懇親会について 8/6
支部会、理事会を開催 (於緑)
6. その他
・全国学校保健学校医大会 11月12日、滋賀県
にて開催、参加を募る

<関連学会・各種協議>

1. 府歯科保健文化賞表彰式 6/5 (長村出席)
2. 創立100執念記念誌委員会 6/7
3. 精神衛生研究会 6/9
4. 色覚相談 6/14、21、28
5. 心臓相談 6/15
6. 結核対策委員会 6/16
7. 小学校長会との懇談会 6/18
8. 府医療推進協議会主催イベント 6/19
(長村、奥村の出務)
9. アレルギー疾患相談 6/22
10. 三師会 6/25
11. 市教委との懇談会 7/2
次回常任理事会 7/2 (2:00PM~)

